

2025年8月31日

第79回 国民スポーツ大会中国ブロック大会少年女子の部(鳥取)
中国地域女子審判員研修会 報告書

中国サッカー協会審判委員会女子部長
米村 真由美

◇日時 : 2025年8月9日(土)～8月11日(月・祝))

◇場所 : Axis バードスタジアム
鳥取市若葉台スポーツセンター

◇研修参加者:(敬称略)

【2 級審判員】伊藤華蓮(島根県)、宮崎希実(広島県)、杵築歩那(広島県)、大嶋紗弥(岡山県)

【3 級審判員】岡村明貴(山口県)、大木千聖(山口県)、掛水朝陽(広島県)、永瀬ゆずき(島根県)

【INS】石倉彰二(鳥取県)、奥野和也(島根県)、大橋寛子(岡山県)、田中よしこ(広島県)、島川敏弘(山口県)、
竹下聖(広島県)、加藤恭子(岡山県)、米村真由美(広島県)

【オブザーバー参加】坂根慶紀(島根県)、杉山崇(山口県)

◇研修会のテーマ:【審判員の協力】

【研修会スケジュール&内容】

【研修のテーマ】 自分の役割を果たす					
●8月9日(土)		●8月10日(日)		●8月11日(月・祝)	
会場	Axisバードスタジアム	会場	Axisバードスタジアム/ 若葉台スポーツセンター	会場	Axisバードスタジアム/ 若葉台スポーツセンター
時間	内 容	時間	内 容	時間	内 容
		6:30	朝食(各自)	7:00	朝食(各自)
8:00	会場集合	8:00	会場集合	8:00	会場集合
8:20	マッチミーティング	8:20	マッチミーティング	8:20	マッチミーティング
9:30	試合マッチNo.① 70分(35・10・35) 延長(10・10) PK	9:30	試合マッチNo.① 70分(35・10・35) 延長(10・10) PK	9:30	試合マッチNo.① 70分(35・10・35) 延長(10・10) PK
11:30	昼食(お弁当)	11:30	昼食(お弁当)	11:30	昼食(お弁当)
13:00	研修会 @Axisバードスタジアム	13:00	研修会(振り返り) @Axisバードスタジアム	13:00	研修会(振り返り)
14:00		14:00	移動	14:00	解散
15:00		15:00	外部講師トレーニング 門脇 隆さん 大栄中学校体育館	【集合と解散について】 ☆全試合9:30キックオフなので、8時まで に会場集合をお願いします。 ★解散は8月11日(月・祝)13時を予定 しています。 何かありましたらご連絡ください。 【緊急連絡先】 米村真由美 ☎090-2329-0415 ✉ yonemayu1130@yahoo.co.jp	
16:00					
17:00	移動 ホテルチェックイン	17:00	移動 ホテルチェックイン		
18:00		18:00			
19:00	夕食(各自)	19:00	夕食(各自)		
20:00	指導者振り返り	20:00	指導者振り返り		

【研修会に向けての準備】

・8月7日(木)20時～21時まで ZOOM で事前研修会

大会要項の確認・大会のテーマの確認

【大会 1 日目】



☆午後から研修会スタート。

3 級審判員・インストラクターも集合し、自己紹介・この大会の意気込みを発表。

【主審】【副審】【4th】のそれぞれの役割、また協力できることをディスカッションしました。



【大会 2 日目】

昨日のディスカッションを活かして、試合を行いました。

お互いに積極的に声をかけ合い、間違いがないように慎重に確認していました。

☆午後から

陸上競技専門の門脇隆先生にお願いして、【走り方】の講習会を開きました。外が大雨の為、急遽体育館で行いました。最初に走った 40m 走のタイムが、トレーニング後に再び計測するとなんと、全員早くなっていて、即効果がありました。あとは、継続あるのみ！





【大会 3 日目】

この大会の集大成として、審判チームで試合に取り組みました。



【大会の審判割り当て&結果】

令和7年度ミニ国スポーツ大会 少年女子											
8月9日(土)											
会場：Axisバードスタジアム											
No.	対戦チーム				キックオフ	主審	副審1	副審2	第4の審判員	指導者	
①	広島県	3	VS	0	鳥取県	9:30	伊藤華蓮	大嶋紗弥	宮崎希実	杵築歩那	石倉・米村
8月10日(日)											
会場：Axisバードスタジアム											
No.	対戦チーム				キックオフ	主審	副審1	副審2	第4の審判員	指導者	
③	山口県	1	VS	0	鳥取県	9:30	杵築歩那	掛水朝陽	永瀬ゆづき	伊藤華蓮	大橋・奥野・田中・米村
会場：鳥取市若葉台スポーツセンター											
②	岡山県	2	VS	1	鳥根県	9:30	宮崎希実	岡村明貴	大木千聖	大嶋紗弥	竹下・島川・加藤・石倉
8月11日(月・祝)											
会場：Axisバードスタジアム											
No.	対戦チーム				キックオフ	主審	副審1	副審2	第4の審判員	指導者	
⑤	鳥根県	0	VS	1	山口県	9:30	大嶋紗弥	掛水朝陽	大木千聖	杵築歩那	加藤・竹下・米村
会場：鳥取市若葉台スポーツセンター											
④	広島県	1	VS	0	岡山県	9:30	坂根慶紀	岡村明貴	永瀬ゆづき	宮崎希実	田中・島川・大橋

【参加審判員の感想】

☆岡山県 大嶋紗弥さん(2 級)

今回、サッカーの審判員として 3 日間ミニ国スポ大会に参加し、多くの経験を積むことができました。

1 日目は競技規則の適用ミスがあり、審判員同士の協力が不足していたことを痛感しました。

今回のテーマが画『審判員の協力』だっただけに、連携の大切さを改めて感じました。

2 日目は4thとして主審と負傷者の対応について事前に打ち合わせをしましたが、実際の対応はスムーズにいかず、状況判断の難しさを感じました。

また、走り方講習では、実際に足が速くなる感覚を体験し、身体の使い方の重要性を実感しました。

3 日目は主審を務め、より角度をつけたポジションにングや、ベンチが荒れないようなベンチコントロール

の必要性を学びました。今後は今回の反省と学びを活かしてより質の高い審判員を目指していきたいです。

☆広島県 宮崎希実さん(2級)

8月9日10日11日の3日間、鳥取県で開催された国民スポ大会中国ブロック大会に審判員として参加させていただきました。この3日間では、副審、主審、4thと全ての役割を担当させていただきました。

1日目の【副審】では、会場にいる方に伝わりやすいシグナル、最終ラインのキープ、主審への最善のサポートをする。

2日目の【主審】では、スピードに負けないよう、スプリントを活かす、次のプレーを予測した動き出しを意識する、アイコンタクト。

3日目の【4th】では、交代枚数、回数のミスを絶対にしない、適切な対応、コミュニケーション。を目標に頑張りました。

実際、上手くいったこともあります、上手くいかなかったこと、改善点をたくさん見つけることができました。

試合後の反省会で他の審判員や、インストラクターの方々と今後どうするとより良いジャッチができるのかなど、普段できないような話し合いをする貴重な機会となりました。

新しく中国女子部にきてくれた新3級の方々と組み、2級として教えることもできました。良い交流になったと思います。

この3日間を通して、克服できることがたくさんあったと思います。課題克服に向けて、日々取り組んでいきます。

選手一人ひとりが自分らしいプレーをできるようにマネジメントを心掛け、信頼してもらえるような審判になります。また、たくさんのコミュニケーションを取り、自分と違った意見をきくことも大切だと思いました。

ミ二国で経験し、見つかった課題をこれからの審判活動で活かしていきたいと思います。

【指導者の感想】

☆岡山県 加藤恭子さん

2年ぶりのミ二国スポーツ大会に参加させていただき、今年は若手審判員とともに私たちインストラクターも良い学びの機会をいただきました。

自分の中で毎回感じる事は、「どうしたら分かり易く伝わるか」です。

まだまだ、インストラクターとしては未熟ですが、審判員と一緒にこれから成長できればと思います。

あいにくの天候でしたが、審判員も自分の持っている力を出し切って試合に臨んでくれました。体調不良者や負傷者も出ず、3日間無事に大会が終わった事、ホッとしています。

大会中お世話になりました、米村女子部長をはじめ、開催県で色々とお動いていただいた石倉さん、また、各県の女子担当者の方々、お世話になりました。ありがとうございました。

☆広島県 竹下聖さん

8月9日～11日、鳥取県で開催された、第79回国民スポーツ大会中国ブロック大会にインストラクターとして参加しました。今回は、女子審判員8名(2級:4名、3級:4名)が豪雨で悪天候の中、少年女子の試合を担当しました。

初日の研修では「協力」というテーマで審判員グループ、インストラクターグループでディスカッションし話し合った事を発表しました。いつ、何を、どのように協力するのか、具体的に出ていたので、実際の試合でも起こった事象に対して対応できればいいなと思いながら聞いていました。

翌日、試合前の打合せはより具体的な内容になり、審判団チームとして試合に臨む姿が見られました。また2級審判員の4名はこれまで経験してきた事を3級審判員へアドバイスしており、それぞれの成長を感じる瞬間でした。

実際の試合では、適切に対応できない場面があったので、試合を運営するために審判団が「協力」することの重要性が理解できたのではないかと思います。

若い女子審判員が増え嬉しい反面、まだまだ経験不足と感じるところもありましたので、私もインストラクターとして皆さんの活動の一助となれるよう指導力を身につけたいと思います。

最後に本大会の準備、当日の運営に至るまで鳥取県サッカー協会の運営役員の方々、補助員の高校生には大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

【まとめ】

2日目に走り方、特にスプリントに強くなる動き、トレーニング方法を、陸上競技専門の門脇隆先生にお願いして教えていただきました。

身体の使い方、力の入れ方などの意識を変えると90分のトレーニングで、40m走のタイムが全員速くなりとても良かったです。

女性審判員は普段なかなかお互いに顔を合わす機会がないですが、中国5県で8人の審判員が集ったことで、初対面の方ともすぐに打ち解け、お互いが知っている事をアドバイスし、ピッチ外でもコミュニケーションをとっている姿をみてうれしく感じました。

試合を重ねるごとに事象をどう見るのか、ハーフタイムやクォーリングブレイクの時に何を確認するのか、明確になっていました。

初日の試合で、交代人数を規定よりも多く替えてしまうミスがありましたが、同じミスをおこさないように、2日目以降は、審判団で声をかけ合って確認し、その後の試合は無事終わられたと思っています。

今後の課題として、大会前の規定の確認を徹底し、人任せにせず一人ひとりが責任を持って役割を果たすことが大切だと思います。

開催県の鳥取県の皆様大変お世話になりました。

